

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。



度集

第五期作業規模修正案

昭和拾年七月拾七日

一、結論 大体第三期、実績ニ類セシムルコト

考察資料

(一) 第三期生産実績

鋼材(鋼片及トバリヤ合A) 八八六、三〇八 吨

内

販賣シタルモノ 八二八、五一一 吨 外ニ屑ニテ販賣シタルモノ 二七、五九〇 吨アリ

社用ニ供シタルモノ 二八、五一三

「ストック」トナリタルモノ 二九、二八四

各作業所生産実績

八幡 七五五、七二八 吨
釜石 八〇、九三三

日本製鐵株式會社

富士 三一六、六九 吨
兼三浦 一七、九七九
計 八八六、三〇九

(二) 第五期、生産計画原案

釜石	輪西		八幡		鋼材	鋼塊	錠	鐵	他作業所向
	B	A	計	B					
七九、二〇〇				七九九、〇六〇		九五九、二〇〇	五九三、〇五〇	錠鉄二〇〇、〇〇〇 吨迄	
三一、一九〇				七九九、〇六〇		九五九、二〇〇	八六、八四五		
一一七、一〇〇				九五九、二〇〇		九五九、二〇〇	六七八、八九五		
九四七、〇〇〇				九五九、二〇〇		九五九、二〇〇	八六、八四五		
三二、七八〇				九五九、二〇〇		九五九、二〇〇	八六、八四五		

鋼塊三九〇、〇〇〇 吨
錠鉄一三四、〇〇〇 吨
釜石向

計	兼ニ浦		富士		計
	B	A	B	A	
九三九一八八	一	三二一三八	二八八〇〇	一	七九二〇〇
一九九五九〇	一六七一七一〇	五五八〇〇	三二七〇〇	一	一四八三〇〇
一〇三六三〇〇	三〇八九七〇	一〇九四二五	一	一	一二七四八〇
					鋼塊一〇〇七八番何
					鋼塊一六八〇七 外三期持越分三三三也 向八

(三) 第三期実績ニ比シ第五期計更ノ増

日本製鐵株式會社

八幡
釜石
富士
兼ニ浦
計

△ 四三三三二
△ 一七三三三
△ 二八六九九
一四一四九
五二八七九

右ノ内

(イ) 八幡ニ於ケル増ハ完成鋼材各品種間ニハ多少ノ凸凹アルモ大体ニ於テハ相異ルナキモ半作品タル鋼片及シートバー約四三〇〇〇觔増スモノナリ

(ロ) 兼ニ浦ニ於ケル増ハ主トシテ第四期ニ於テ新規作業ヲ始メタル大形工場生産豫定一二七一三觔ナリ

二 結論ノ具体的説明

(イ) 右八幡鋼片及シートバー増加計更ヲ見合スコト

此ノ結果右ニ要スル鋼塊約四九五〇〇。吨
ヲ生産計更ヨリ減スルコト

(ロ)

兼ニ浦ニ於ケル八幡向鋼塊ノ内前期持越ヲ
以テ充ツル、豫定ナル三、六〇〇。吨、之ヲ同所第
五期生産ノ分ヲ以テ代フルコト

從テ右八幡向鋼塊 三、六〇〇。吨ニ依リテ生産セ

ラルベキ鋼材(大形及厚板)ハ當然減トス

(ハ)

結局 本社全体ノ鋼材(鋼片シートバーヲ

含ム)生産高ハ第五期生産計更ヨリ約四六三〇〇

吨ヲ減シ約八九二八六〇。吨トナリ第三期ノ生産

実績約八八六三〇〇。吨ヨリ僅ニ約六五〇〇。吨、

増トナルノ計算ナリ

日本製鐵株式會社

寫

昭和十年七月十五日

東京

景山技師長殿

野田鶴雄

拜啓去十三日付貴所用品課ヨリ本店
 購買課宛書面ヨレバ製鋼部鋼塊生
 産量益々増加、趣先頃中、好況時ナラ
 バ裁減慶賀、至リ候ヘドモ既ニ御承知
 ノ如ク鋼材需要激減、今日、於テハ大ニ
 其生産ヲ引締ムルト共ニ生産費ノ低減ヲ
 行ハ子バナラス、第五期事業計画ノ如キモ其
 積リニテ目下大体第三期ヲ超過セザル程度
 ニ於テ編制中ニ有之、スクラップ使用ノ如キ

日本製鐵株式會社

ニ無論第三期以上、及バザル様致度存岳矣
 本業縮方針、件ハ先般渡辺所長上京ノ
 際中井社長ヨリモ充分ニ御協議アリタル
 筈ニテ折角増産ノ勢ヲ拳ゲントスルニ際シ手
 相ヘノ方針ヲ採ルハ、残念ニ候ヘドモ本邦ノ
 需要激減ハ如何トモ致シ難ク此激流ニ及
 シテ生産減ニトリカ、ルコト必要ト存候
 一スクラップ使用減及鋼塊減産ニ向フ第
 一方策トシテハ新製鋼工場ノ使用「スクラップ」ヲ
 極端ニ其工場ノ鋼塊ヨリ生ズル自生「スクラップ」
 量追ニシテ紙鑛石法ヲ實驗セラレ度既ニ鞍
 山ニテハ「スクラップ」(〇名)ニテ操業致居候由、
 候者其他ニテ不経済ナル炉ハ一部休止シテモ
 第三期程度ノ生産ニ止メラレ度希望ニ不堪

候從テ工程拂等ニモ多大ノ考慮ヲ要スルカ
ト存候

日本製鐵株式會社

日本標準規格 B5(182×257mm)